



# みささ 議会だより

第99号 平成27(2015)年 4月号

主な内容…平成27年度予算・3月定例会・常任委員会・  
一般質問・子ども夢議会

**がんばるぞ!!**  
**南小に3人の新入生**

# 3月定例議会

3月5日～3月20日までの16日間

平成27年度一般会計

歳入・歳出

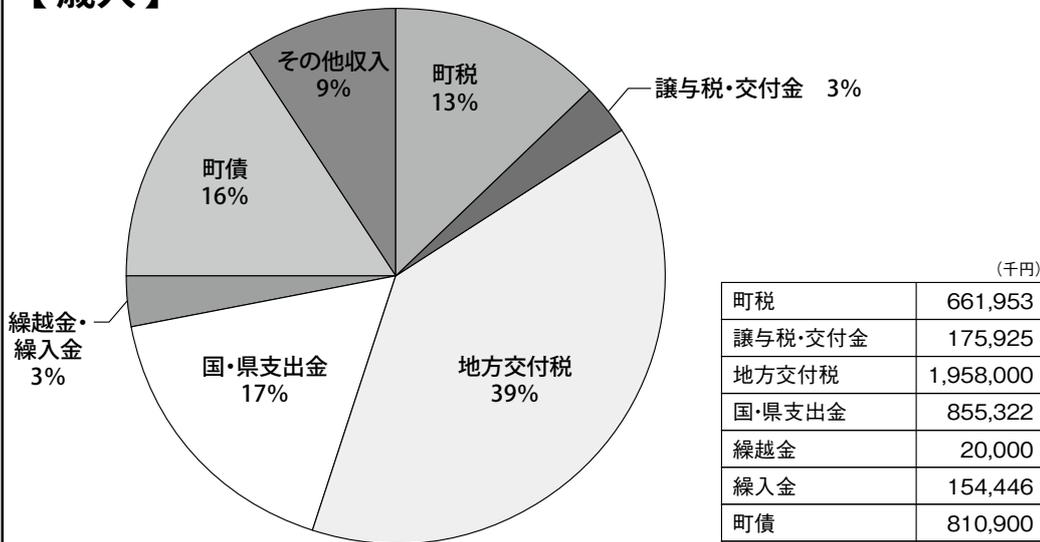
**50億8,500万円**

(前年度 54億894万1千万円)

**一般質問は7名**

**プランナール  
名勝及び史跡  
AEDを、  
高校生の**

## 【歳入】



## ここに注目1

プランナールみささ  
民間活力導入を検討



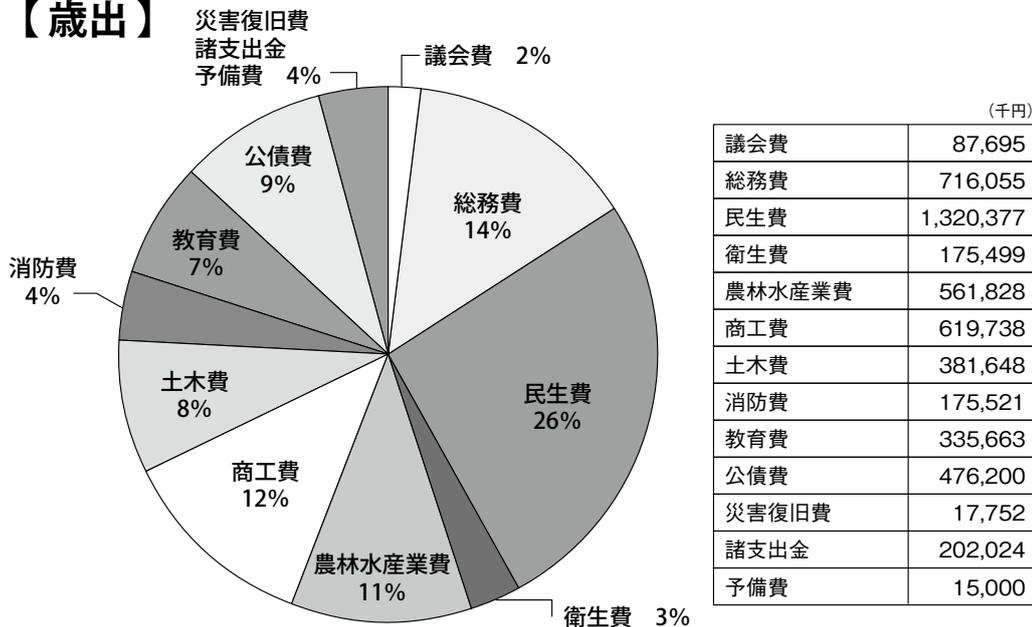
## ここに注目2

**AED を各集落  
に設置**

平成27年度では、40集落  
について「AED」を設置する  
予定。



## 【歳出】



# みささ 民間活力導入を検討

## 三徳山修復事業 初年度予算可決

### 各集落に設置

### 通学費を補助(定住化対策)

三朝町は、平成27年度に、「ブランナールみささ」の運営について民間活力導入可能性調査を実施し、早期の民間活力導入を図ることとした。

選択肢の検討は、下記の通り。

1. 施設の民間事業者への譲渡
2. 普通財産として民間事業者に貸付
3. 指定管理者による運営
4. PFI(運営権制度)による運営
5. 施設の廃止、他用途への転換
6. 直営による継続運営

#### ここに注目4 スポーツセンターの耐震改修

災害時避難場所にも指定されている「スポーツセンター」を屋根も含めて、耐震改修を1年程度かけて実施する。



#### ここに注目5 女性消防団全国大会出場

三朝町女性消防団が、10月15日に横浜で開催される「全国女性消防操法大会」に、出場が決定。

現在、上位入賞を目指して週二回程度、練習に励んでいます。

団員は、前日に横浜入りし、練習し体調を整えて本番に臨みます。

また、「応援団」も組織され、三朝町女性消防団員の活躍を応援します。



#### ここに注目6 名勝及び史跡三徳山修復事業

3年前に焼失した、三徳山正善院の復興にかかる事業予算。3年間の事業計画で、初年度の平成27年度の三朝町の補助金額は316万円(6.25%)。

(立面図)

実施設計による、総事業費は4億9,000万円。そのうち、三朝町の補助金額は全体で3千万円となる予定。

昨年の予算から、大きな変更点としては、

1. かやぶき屋根
2. かやぶき屋根に伴う消火設備
3. 漆塗り・古色仕上げ・耐震補強など



名勝及び史跡三徳山(正善院)整備事業実施設計書より

#### ここに注目3 高校生通学費補助

### 高校生通学費補助

自宅から、三朝町役場までの交通費補助として支給するもの。定住化対策に重点を置いたもの。

## 常任委員会で 慎重審議

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### 特別支援学級に タブレット！

## 会計課

### 税のコンビニ納付

(委員) 税金をコンビニでの支払いはできないか。

(回答) 数年前に検討したことがあるが、コンビニ納付は手数料が高いということで断念しています。

## 危機管理課

### コミュニティ助成事業

(委員) どのような内容か？

(回答) 消防団員の活動環境向上のため、カッパを317着整備します。

### 小型ポンプの更新

(委員) 今年の更新は？

(回答) 大瀬小型班、砂原班、合谷班、今泉班の更新をします。また、小河内積載車の更新をします。

## 教育総務課

### 中学生修学旅行

(委員) 台湾には中学生全員を行かせることはできないか？

(回答) 保護者の一部には外国に行くことに安全性の面で危惧することも聞いています。

### 準要保護児童

(委員) 準要保護児童援助費の対象者の基準は。

(回答) 認定条件には、経済的基準、児童扶養手当受給の有無、家庭の状況などいくつかあります。

### 特別支援学級に タブレット学習

(委員) タブレット予算が計上してあるが、教員はきちんと使って指導できるのか。また、ソフトは高額だがどうしていくのか。Wi-Fiの整備はどうか。

(回答) 先生方も学んでいかなければと自覚しており、積極的に研修していきます。ソフトの予算も含まれています。Wi-Fiは今後検討していきます。

## 子育て健康課

(委員) ウエルカム Baby クラス事業について、男性にも「父子手帳」を作って、将来、子育てに関わるきっかけづくりにはどうか。

(回答) 検討します。

### 健康診断

(委員) 本町における健診受診率の向上策はどうか。

(回答) 胃がん健診、子宮がん、大腸がん、乳がん検診のクーポン券事業を町単独で実施しています。

## 財務課

### プランナールみささ

(委員) 国民宿舎の調査は、資料にある6つの選択肢の全てが判断できる調査をやられるということか。また、来年3月までかからないようにお願いしたい。

(回答) 6つの選択肢の調査をします。半年ぐらいの期間を予定しています。

## 福祉課

### 介護保険料

(委員) たくさんの方が増額となるが。

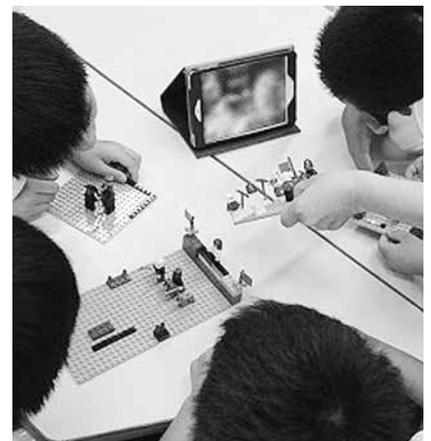
(回答) 改正によって額が上がる人は多くなる。平成27年度は保険料として3,000万円増となりますが、事業費も5,000万円の増となります。

## 文化ホール

### 人形劇を開催

(委員) 文化ホールが開館して20周年になるが。

(回答) 記念事業として、子どもから大人まで楽しめる『人形劇』を開催することとしています。



タブレット学習風景  
(総務省ホームページより、抜粋)

## 産業民生常任委員会

### ふるさと納税のお礼 旅館利用券以外にも

## 農 林 課

### 農業全般

#### グリーンサービスの新たな姿を模索

(委員) 米価が下がり、農家の耕作意欲がなくなっている中で、どこを守るべきか。グリーンサービスへのニーズが増え、農林課が考えていくことは何か。農地部分の管理、どう生産して行くのかの長期計画を早めに考えるべき。

(回答) 早め早めということ、そしてよく観察しておくことが大切になります。グリーンサービスの体制の問題もあります。ぜひ、考えたいと思います。

## 町民税務課

### 塵芥処理経費 (4,855万円)

#### 家庭・事業者完全分離を考える

(委員) 家庭ごみと事業ごみの仕分けについて説明を。

(回答) 本町以外は、家庭ごみは市町で、事業ごみは事業者が処理しています。本町も同様に取り扱いたい。平成27年度は周知期間、平成28年度からは完全に分離を考えています。

## 企画観光課

### ふるさと納税(3,276万円) お礼の範囲拡充

(委員) これまでは旅館利用券を送るのみであったが、平成27年度は米や蟹等を旅館利用券に併せて送るのか。来た人に持ち帰りいただくということか。

(回答) 現在、商工・観光団体と調整中ですが、平成27年度からは旅館での利用に併せ、町内の飲食店や商店でも使用可能な券として、範囲を拡充することを考えています。

## 建設水道課

### 新水源配水池建設(2,784万円) 三朝高原に新水源を求める

(委員) 今後の水源・ボーリング調査の進め方は。

(回答) 水源の候補地を三朝高原にしぼりました。地権者の調査等行い、場所を特定します。掘り出したら、1～2週間程で水の有無を含めて分かると思います。

## 財 務 課

### ブランナールみささ 体質・事業など問題点を探る

(委員) 利益が出る体制を目指して設備投資等を認めてきている中で、数字が出ないのは苦しい。ありとあらゆる体制を作っているのに、何か問題があるのでは。

(回答) 表に見えるものではなくて、見えないものが何か収益に結びついていないと考えているところです。その部分は、町当局とも相談して探ってみたと考えています。



旅館利用券

# 一般会計予算審査特別委員会

委員長 藤井 克孝  
副委員長 池田 雅俊  
委員 清水 成真  
吉田 道明  
福田 茂樹

話し合われた案件と執行部の主な回答は次のとおり。

## 1. 名勝及び史跡三徳山修復事業補助金

(委員) 防火水槽などの消防施設がなぜ必要なのか。

(回答) 当初は銅板葺の屋根を予定していたが、文化庁の指導により、茅葺とし、防火設備整備のため、防火水槽も設置することになった。

## 2. 高校生等遠距離通学費補助金

(委員) 自宅から役場までの交通費ということであるが、これでは不公平ではないのか。自宅から高校までの距離を換算して、全額ではなく今回の予算範囲で、何割補助という形でも良いのではないか。

(回答) すでに実施している小・中学校の遠距離通学補助金と同程度のもので、最低限の補助と考えている。

## 3. ふるさと納税

(委員) お礼として返す部分に特産品（特に三朝米）を使い、米作り農家の支援はできないか。

(回答) 特産品の購入や町内での飲食にも利用できる準備を進めている。町としては三朝町に来ていただくことに重点を置きたい。

## 4. 三朝町キラリと光る町づくり支援交付金

(委員) 中高生への支援は2年間利用されていない。中高生に限らず、より使いやすい形で事業を考えるべきではないか。

(回答) 制度充実に向けて検討したい。

## 5. 全国女性消防操法大会出場経費（コミュニティ助成事業含む）

(委員) コミュニティ助成事業含めて、500万円余りの予算となっている。この内容で妥当であるか。

(回答) 出場経費については過去の例を参考にした。助成事業については、団員を増やし活動するなかで機材等を活用していきたい。

## 6. 日本遺産魅力発信推進事業

(委員) 具体的な内容がみえてこない。事業内容を精査してから事業に取り組むべき。

(回答) 鳥取県では唯一三朝町が対象なので、認定を受けられるようにと考えている。

## 7. 高齢者交通費助成事業

(委員) 要介護認定を受けていない高齢者（免許返納者等）に対して、他の事業で助成等がないのであれば、この事業で助成を考えるべきではないか。

(回答) 過疎バス対策や地域交通のあり方と併せ検討したい。

## 8. 三徳山行者道保存修理事業補助金

(委員) 補助金等の見直しをすべき時期になっているのではないか。補助金を出すのであれば、年数を限るべきではないか。

(回答) 平成23年度から5か年計画で始まり、平成27年度が最終年である。

## 9. 無形民俗文化財保存継承事業補助金

(委員) 国の無形民俗文化財として、町が主体となってジンショを守るべきで、補助金額等増やすべきではないか。

(回答) 三朝のジンショ保存会の意見を聞きながら検討したい。

## 10. ブランナールみささ

(委員) 民間活力導入に向けて早期に方針を決定すべき。

(回答) 現在ブランナールの民間活力導入について検討している。平成27年度中には方向性を出したい。



## 子育て

### 問 子育て支援は充分か

答 経済的・精神的・身体的な負担感の軽減を図る

#### ○少子化の要因

池田

町長はかねてより「子育てするなら三朝町」をキャッチフレーズに、第3子からの保育料無料化、高校生までの医療費助成等といった施策を実施してきたが、住民にとって本当に子育てに適した魅力あるものになっているか。

子育てに関しては、乳児期・幼児期・小学校・中学校・高校の5段階に分けることができると思う。とりわけ、乳児期、幼児期の子育ては親にとって一番手のかかる時期で、病気でもされると大きな犠牲を払うことを余儀なくされてしまい、特に仕事を持つ若いお母さんにとっては切実な問題で、少子化の大きな一因となっているのは周知の事実である。

#### ○少子化への危機感

町長

子どもは町の未来であり、だからこそ「子育てするなら三朝町」と常々言葉にしてきた。それは将来の三朝町を担う子どもたちが、元気いっぱい、友達いっぱい、感動と笑顔いっぱいに育ってほしいと願うからだ。

急速に進む少子化への危機感から、子育て支援が社会全体の関心事となった今、国も全ての子どもが健やかに育つ社会を目

指す姿として掲げている。それは本町も目指すところで、経済的な負担感の軽減や仕事と子育ての両立支援、精神的、身体的な負担感の軽減を柱に子育て支援の充実を図ってきた。

#### ○三朝町独自の 子育て個人カルテ

池田

地域で子どもを育てていく、行政が子どもを守っていくという考え方のもと、子どもの状態や家庭の状況をきちんと把握できる仕組みを整え、必要な支援が適切に行われるシステムを構築する必要がある。三朝町における子育て支援を見渡してみると、果たして「子育てするなら三朝町」と胸をはれるような、三朝町独自の、三朝町にしかない、三朝町ならではの、と言えるようなものがあるか。

子育て支援の根幹として、誕生してから中学卒業までの個人カルテを作成し、成長の記録、発達の状態、病歴、健診の状況、予防接種等の記録をデータベース化し、特に発達障がいへの対処を早期に行える体制を作り上げていく考えはないか。

#### ○個別支援計画

町長

子どもたちの健やかな成長、発達のために、幼児期から高校



池田雅俊議員

まで必要な情報が適切に引き継がれていく必要がある。そのため日本には母子手帳という世界に誇れるシステムがある。また本町では発達障がいを含む全ての障がいのある子どもたちが成人期に至るまで切れ目のない、つながりのある支援を提供するため、個別の支援計画を作成している。

#### ○日本一の子育て王国

池田

保育所に通っていない乳児期の子ども及び親への支援、あるいは病児、病後児への支援、休日保育、一時預かり、緊急預かりを含め、通常保育、就学前教育、小学校教育、中学校教育、特別支援教育を一貫とした子育て支援体制を築き上げ、「日本一の子育て王国」を作り上げていく考えはないか。

#### ○積極的に

町長

子育て支援策の中で積極的に検討し、さらにもっともっと充実させていく方向で取り組んでいきたい。

## 小学校の在り方

**問** 三朝町の目指す教育について

**答** 平成30年までに3小学校統合

### ○人材育成こそが重大

#### 能見

教育は国家百年の計とは、国家を国家として存続させていく上で教育つまり人材育成こそが最も重大な課題であることを表した言葉である。先般、教育委員会は町長に対して平成30年までに現在の南、西、東小学校を一つに統合することが望ましいという答申を出した。過疎化、少子高齢化の進むわが町においてはやむを得ないと思うが、今後の三朝町の教育体制を含めた教育体制全般について町長に伺う。

### ○実態に応じた多様な学びを

#### 町長

昨年12月に教育委員会は私に平成30年までに現在の東小学校、西小学校、南小学校の3つの小学校を統合し新小学校を設置することが望ましいとする報告をされた。私はこれを受け、これからの小学校の在り方について真摯に考えた。学校教育において心身ともに健やかに成長させていくためには、一定以上の児童数を確保し、お互い切磋琢磨し合うことが大切であると感じた。

平成27年度早々には小学校統合準備委員会が設置される予定である。平成30年までの新小学校の設置を目指して取り組んで



能見貞明議員

まいる所存である。

三朝町の教育の基本姿勢は知、徳、体の調和のとれた子どもを育てる教育、郷土に学び郷土を誇れる子どもを育て、子どもの実態に応じた多様な学びを保障する教育、生き生きと学び自分で考え判断し行動できる子どもを育てる教育の4点である。

つけ自主自立のできる教育を目指していくため、統合による一定以上の児童数の確保が必要と判断した。

提案の3クラスは学級編成基準で1学年2クラスが限度である。一貫校については今後検討していく余地はあると思う。

### ○新しい環境のもとで

#### 能見

西小学校も中学校も建築されてから約50年経過した。新しい場所で新しい校舎で素晴らしい環境の下で教育するべきではないか。人生最大の贅沢は教育だと言う。将来の三朝町を担う子どもたちを育てていかなければならないと思う。

## 教育について

**問** 少人数学級、小中一貫校、校舎について

**答** 少人数学級、一貫校は現在のところ考えていない

### ○新校舎で素晴らしい教育を

#### 能見

教育長に伺う。今回の3校統合が望ましいという答申について、子どもたちの育て方をどう見据えておいでなのか、また小、中9年間の教育環境をどのように作り上げていこうとされているか。同学年児童数はおおよそ50人であるが、これを15人～18人程度のクラスだと担当教員の負担も軽く、2クラスよりも3クラスの方が切磋琢磨出来ると思われる。

私は小中一貫校を提案したい。一貫校のメリットは大きく分けて2つあると思われる。一つは小・中学校の教職員の人的交流、学力観、指導観、評価観の共有、二つ目は中一ギャップを初めとした問題の解消を図ることができる。

### ○児童数の確保が必要

#### 教育長

現状の児童数がさらに減少することが予想される中、子ども同士の良い意味での競争力、教育環境の確保、生きる力を身に

## 農業

**問** 三朝産米のブランド強化と6次産業化の推進を

**答** 工夫で生産意欲の持てる水田農業へ

### ○三朝町農業の将来像と活性化策は

山口

三朝町の二大産業の一方である農林業についてどのような将来像を描き、今後どのような活性化策を講じようとしておられるのか所見を伺いたい。

町長

水田農業の将来像として目指すべき姿は生産者が繰り返し生産へ向かう意欲が持てなければならぬ。そのためにはコメ作りの工夫、独自販売法、付加価値を高めることがキーワードになる。

生産コストの低減、担い手の確保と組織化を進めていかなければと考えている。

### ○三朝産米の差別化と販路拡大を

山口

食味値評価特Aの三朝産「きぬむすめ」をはじめ三朝産「コシ

ヒカリ」のブランドを確立し、他の県産「きぬむすめ」、「コシヒカリ」との差別化が急がれ、さらに町独自の販売網構築やPR作戦など検討すべきと考えるが。

### ○品質以上の価値を付加

農林課長

販売方法では三朝米の商品化で生産者の収入に結びつくことが重要であり、特A評価は販路拡大のチャンスと感じている。グリーンサービスやふるさと納税への活用を通じてPRし、直売を一つの柱としていきたい。ブランド米を見ていくと品質以上の価値を付加しており、生産者と一緒になって他との差を考えてアピールしていきたい。

### ○三朝産米の6次産業化を

山口

6次産業化としての炊飯センター



山口 博議員

再開で消費拡大、販路拡大、雇用創出などが期待されるが町長の見解は。

### ○炊飯センターの再開は難しい

町長

炊飯センターは美味しい三朝米を供給する施設として評価を受けたが、旅館の客数や単価に左右され、厳しい経営環境で解散した。再開については製造コストや販売価格、流通経費などから非常に難しいと考える。

### ○給食無償化の検討を

山口

第3、第2子の給食無償化、軽減化としてはどうか。

教育長

給食費の無償化については色々な考え方もあり、もう少し議論をしていくことが必要である。

### ○返還不要奨学金の創設を

山口

若者の定住策としての返還不要の奨学金制度を創設しては。

教育長

奨学金返還の減額、免除で本町出身の若者が地元で定住すれば地域の活性化につながるものと思われるので、若者の定住化促進に有効か検討していきたい。

## 子育て

**問** さらなる子育て環境の充実と人口減対策の推進を

**答** 平成27年度を三朝町の子育て元年に

### ○新たな子育て支援策は

山口

新年度に向けてどのような子育て支援策を提案しているのか。

### ○平成27年度を子育て元年に

町長

平成27年度を三朝町子ども・子育て元年と位置づけ、施策の充実と町内外へ向けて施策のPRをする年としたい。

子育て健康課長

新年度から第2、第3子の保育料を無償化し、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

各保育園では特色ある保育を引き続き実践します。

子育て元年として子育て支援の町宣言、写真コンクール、講演会等を予定している。

### ○子育て世代用町営住宅の建設を

山口

少子化対策としての子育て世代を対象とした町営住宅の建設を提案したい。

町長

定住策として町営住宅の譲渡を進めており、若者に住んでもらうにはどうすればよいか検討してみたい。

## 地域

**問** 元気な地域協議会としての地域協議会の現状をどうとらえているか

**答** 地域の活動を高める活動を積極的に応援

### ○8年目の地域協議会の現状は

中信

地域協議会の大きな役割は地域の人と人とのコミュニケーションを大切に、人の輪を広げ、新しい活動を立ち上げ、住民同士の触れ合う機会を増やし、周りの人の顔が見える地域づくりと思っている。

各地域の資源を活用して特色ある事業を展開されている。

しかし担当者の努力にもかかわらず人口減少の影響もあるが、住民意識の多様化や積極的に参加し、自分たちで地域を盛り上げる気持ちの低下等で参加者が減少傾向にありその対応が課題、又後継者の問題も課題であると思うが。

### ○町は活動を積極的に応援

町長

各地域協議会は地域に暮らす住民の皆様の自主的な活動によって、地域をもっと活性化する目的で設置した組織である。各地域協議会は地域の活力を高める活動を熱心に取り組んでおられる。その状況を積極的に応援していきたい。

### ○町は活性化に向け支援を

中信

各地域協議会の活動は認識しているが、地域住民一人一人に浸透しているのか疑問に思う。活性化に向け町として社会教育面での支援をしていただきたい。

町長

これは地域協議会の行事だけではないと思っている。その事業の前段の仕方、終わった後の事業の周知の仕方にしっかり工夫を凝らさないといけない。町自体の広報のあり方も合わせて検討を深めていかなければいけない。

### ○地域協議会の執行部に女性の参画を

中信

地域協議会の執行部に女性の参画が少ない。女性参加にむけた人材育成の研修会等を町の方でやっていただけないか。

町長

私もそう拝察している。女性の参加に努めていただくよう各地域協議会へ要請していく。

### ○地域協議会への町の対応は十分なのか

中信

今年、地域協議会への町の窓口が教育委員会の社会教育課になり、担当も1人で、他の仕事と兼務である。これで地域協議会への対応が出来るか心配である

町長

教育委員会と話をし、充実する方向での展開を目指して頑張る。

### ○地域協議会活動補助金が適正か

中信

8年を経て各地域協議会の状況も変わってきている。現状にあった活動補助金に切り替えてはどうか。



中信喜貴美代議員

町長

キラリと光る町づくり交付金があり、活用していただきたい。

### ○JA鳥取中央・ジャコム三朝店の閉鎖による周辺地域の状況は

中信

昨年、交流の場、買い物の場となっていたAコープの閉鎖で人の繋がりが希薄化し、地域の社会的活力や経済的活力の低下を危惧するが町長はどうとらえられておられるのか。

地域の女性たちがこの状態に危惧感をいだき活性化に向け模索をしている。このような取り組みの拠点の確保も今後大きな課題であると考えている。

### ○女性参画を応援したい

町長

各地域協議会の会長さんと存続の要望を行ったが、閉鎖となってしまったことは誠に残念だ。鳥取中央農業協同組合も検討中と聞く。地域の活性化に生かされるよう要望をしていく。地域の女性が活性化に向け検討を始められていることにお手伝いする事があれば、町としてもしっかり応援して行きたいと思う。

## 学校

**問** 統合後の新小学校の校舎のあり方は

**答** 検討し早めに方針を出していきたい

### ○統合準備の進行状況は

藤井

昨年、南小学校、東小学校について、平成30年までに統合すると述べられたが、どのように進行しているのか伺う。

統合に当っては、統合準備委員会を設置して、通学や放課後学童クラブのあり方、廃校になる校舎の利用方法など、保護者、地域住民と協議しなければならないのではないかと。

新しい学校には、校名、校章、校歌が必要だ。校舎については、今のままではなく、新築にし校舎を建て直すのか、中・小学校一校に新築するのか、新たに移転し新校舎を建てるのか、教育長に伺う。

### ○早急に統合準備委を設置

教育長

子どもたちの自主自立を促す学校教育を目指していくためには、子ども同士のよい意味での競争力の向上、多様な意見を聞くことができる教育環境づくり、人間関係の固定化の解消、集団教育の確保のためにも統合による一定以上の児童数の確保が必要と判断し、平成30年までの3校同時統合による新小学校の設置が望ましいという結論に至った。

今後は、統合準備委員会を平成27年度の早い時期に設け、学校の場所や施設の内容、通学方法や放課後児童クラブのあり方、地域と連携した教育の進め方などを中心に協議していきたい。

### ○校舎等はどうするのか

藤井

今の各校舎は西小学校が昭和42年9月、東小学校が昭和45年3月、南小学校が昭和49年9月、中学校が昭和37年3月、西小学校の寄宿舎が昭和52年12月に建てられ学童保育等もされているが、今のままの状態での統合なのか。

### ○保護者等の意見を聞いて検討

教育長

小学校の校舎と、中学校の校舎、それから学童に使っている施設等について、現行の庁舎のままでいかどうかという判断にまで至っていない。

保護者の皆さん等のご意見等を伺いながら、全体的に検討してまいりたい。

### ○統合準備委の構成は

藤井

準備委員会はどういうメンバーで構成されるのか。

教育長

大体的には、保護者代表の方、地域住民代表の方、学校の先生方、学校関係者の方々、専門家、有識者で構成したい。

### ○学童保育の建物は

藤井

放課後学童保育の建物についてどのように考えておられるのか。

教育長

放課後児童クラブについては、現在、西小、東小、南小、それぞれ別の場所であり、西小学校は西小学校の寄宿舎でやっており、かなり老朽化しているのは承知しており、保護者のほうからも改善すべきというご意見を伺っている。非常に大きなテーマの一つであり、どのような方向するのか検討したい。



藤井克孝議員

### ○一貫教育校への取り組みは

藤井

仮に小中一貫校にする場合、西小学校の敷地と三朝中学校の敷地、どちらかを建物にして、どちらかを校庭にするのか、また、どこか新しい場所に新たに建物を建てるのか、統合に向けての総合計画を提案したい。

### ○統合問題とは切り離して

教育長

小中一貫校は国や県が推進しているのはよくわかっている。三朝町においても引き続きその方向に向けて議論していかなければならない。

ただ教育委員会としては、今回の一貫校の問題と、小学校の統合問題は切り離して検討を進めたい。また準備委員会のなかでどのようにするのが大前提になってくる。これからの大きな課題の一つとして小中一貫校ということも検討していきたい。



## 観光資源

**問** 山林資源を活用した、観光振興を目指しては

**答** 本町の魅力を活かし、環境整備を進めたい

石田

平成28年秋に第6回ワールド・トレイルズカンファレンス、平成27年秋にはアジア大会と、中部地域が主体となったウォーキング大会が開催される。この機に町の魅力を発信すべきで、拠点となる場所が必要ではないか。

町長

大会では三徳山コースも想定されていて、参加者の人気を集めると期待している。本町の魅力を生かし、観光と健康の観点で楽しく気軽に散策して頂く環境整備と情報発信などの充実に努めていきたい。

○千軒原を整備・購入しては

石田

現在、千軒原は進入禁止となっており、現段階の状況は。

町長

防災ヘリの発着は、8月末まで

は無償で使用してもいいと書面でもって許可をいただいている。借地使用料で折り合いがつかない状況である。

石田

地域の人達の色々な思いがあると思うが、町の観光で良いことは無いので、町が購入し開発整備を進めていただきたい。

町長

検討委員会で計画立案を話し合っている段階で、これならよいという計画が作れるかどうか、そこであろうかと思っている。話し合いが成立するよう努力していきたい。

○健康むら整備

石田

4月末には永楽庵跡地駐車場が完成し、利用するお客様が、プロムナードを通って行ってみたいと思う整備をしていただきたい。



石田恭二議員

町長

地元と町とが、どういう形の中でこれを生かしていく事が出来るかというあたりについても、検討が必要である。

○ウォーキング周遊コース

石田

町全体を一周する、計画を立てていただきたい。

町長

山の町として林業の振興のために作った林道を、観光客に大いに自然を感じていただく場所として提供していくことも大切である。

## 認知症

**問** 認知症になっても住み慣れた三朝で暮らし続けられる町の実現を

**答** 皆で総合的に認知症予防対策に向かう形を構築できれば

石田

国は、認知症国家戦略策定を決定した。10年後には65歳以上の5人に1人が認知症、自分たちはそんな社会で生きていくことになる。

現在、病気の早期発見と予防の健診は実施されているが、認知症に対する健診等はない。今後、健診も実施する必要があるのでは。

町長

今後認知症の方が増えていく中

で、状況を踏まえ本当に必要とされている支援は何かを確認し、それぞれの法人と対応について協議を重ねていきたい。健診で兆候が確認できれば、専門医で早期の受診が可能で、重症化予防に有効である。

現在、65歳以上の介護認定を受けておられない高齢者を対象に、訪問による聞き取りやアンケート、健康教室での保健師、民生児童委

員の情報を基に、可能性が見受けられる方を対象に、予防教室への参加を直接お誘いしている。集団健診よりもきめ細やかな対応で、対象年齢的にも初期段階で効果的である。

○タブレット式端末

石田

物忘れ相談プログラム端末の活用は。

町長

琴浦・倉吉で、健診時に利用している。本町では、モデルとして高勢地区でタッチパネルを利用した教室を実施。5回の予定が、希望により10回まで実施した。

## 小学校統合と 教育委員会制 度について

**問** 平成27年度作成される大綱に、町長の新しい考え方を盛り込むのか？

**答** 私が望む、郷土を誇れる子どもたちの育成、国際理解教育、スポーツ活動の推進、文化財の保護と活用などを新たに盛り込みたい。



清水成真議員

### ○小学校統合の最終的判断は

清水

小学校3校統合の最終的な判断を、町長はどのように判断されたのか？

町長

すべての子どもたちが集団生活の中で色々な考えに触れ、お互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨し合いながら、心身ともに健やかに成長してほしいと願い、小学校に一定の児童数を確保することが必要であり、3小学校の統合を進めていかなければならないと判断した。

### ○総合教育会議の開催は

清水

「総合教育会議」について、町長は今後どのように進めていくおつもりなのか。また、「総合教育会議」を平成27年度早期に開催するのか。

町長

「総合教育会議」の開催については、教育委員会に委任をして、平成27年度の早い時期に第一回目を開催実施して参りたい。

### ○新しい大綱の作成は

清水

平成27年度作成される大綱に、町長の新しい考え方を盛り込むのか？

町長

私が望む、郷土を誇れる子どもたちの育成、国際理解教育、スポーツ活動の推進、文化財の保護と活用などを新たに盛り込みたい。

### ○統合計画の進め方は

清水

今後どのように統合計画を進めていくのか？

町長

小学校統合準備委員会で検討されその案を統合教育会議で成案としていく。

### ○新制度のポイントは

清水

今回の新制度のポイントは、責任の明確化、あるいは処理の迅速化というところでいくと、教育委員会の招集や審議すべき事項を迅速かつ的確に判断することができるかと考えるがどうか？

教育長

新制度の『新教育長』は事務執行と教育委員会の代表者なので教育行政の責任体制が明確となる。また、緊急事態などもすぐに教育委員会を招集でき迅速な対応が可能となる。

### ○小学校統合の決意は

町長

日本の教育の大きな変換の時だと思って、非常に重く受け止めている。議会の皆様方としっかり議論していきながら、誤りのない三朝町の教育を確立していくために努力していく。

教育長

50年間続いてきた、三校の統合なので保護者の皆さん、地域の皆さん、学校関係者の皆さんのご意見を伺いながら、三朝町の子どもたちの教育環境がさらに良くなるように努力していく。

## ふるさと納税

**問** 寄付者に「三朝米」を提供したらどうか？

**答** 現在の旅館利用券に加えて、利用範囲を拡大できるよう調整を進めている。

### ○米作り農家支援のために

清水

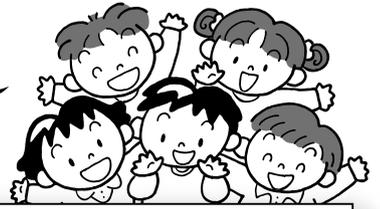
吉備中央町のように、町がふるさと納税制度を活用して玄米60キロを17,000円で買い上げ、精米・発送したらどうか？

町長

そのあたりの検討はまだ煮詰まっていない。今後は吉備中央町をはじめいろんなところの事例を参考にして検討を深めてまいりたい。

2月12日開催

# 子ども夢議会



南小6年 こたに なちか 小谷 菜誉 議員

## 温泉を活用した施設の建設について

**(質問)** 三朝温泉には子ども向けの施設がないので楽しむことができません。そこで温泉を利用した温水プールなどの施設を作れば私たちも利用でき、旅館に泊りにきた観光客も利用でき、県内からの観光客も増えるのではないのでしょうか。

**(答弁)** 三朝温泉には湯めぐり旅館や足湯、飲泉場、ラドン熱気浴施設があり、町全体が大きな温泉施設ととらえています。皆さんにも湯めぐりや足湯などを楽しんでいただきたいと思います。また温泉街では色々なイベントがあるのでいっしょに楽しんでほしいと思います。

西小6年 いがちかの 伊賀千佳乃 議員

## 三朝温泉への外国人観光客誘致について

**(質問)** 外国人観光客に来てもらうためのPRや対応をもっと良くすれば外国人観光客が増え、全体の観光客が増えるのではないのでしょうか。

**(答弁)** 町のホームページで三朝温泉の素晴らしさをPRし、国際交流員のアントニーさんがインターネットで町の魅力を海外へ伝えています。また、外国のお客さんのために英語、フランス語、韓国語、中国語などの案内看板やパンフレットを用意しています。これからも情報発信、環境整備を進めていきます。

西小6年 かわくち とわ 川口 斗和 議員

## 三朝町の少子化対策について

**(質問)** 三朝町は保育園も園児も減っており、これを食い止めるため町ではどのような取り組みをしていますか。

**(答弁)** 町では保育料の無料化・軽減化、三世代同居未就園児保育の家庭補助金、学童保育料の軽減や高校生までの医療費補助など日本トップクラスの助成を行っています。今後も子育てを応援する取り組みを検討していきます。

東小6年 よねざわさ やと 米沢早弥翔 議員

## 小学校統合後の東小校舎の活用について

**(質問)** 東小校区には三徳山投入堂、小鹿溪があり、東小校舎を三朝町の観光フィールドワーク拠点施設にして活用してはどうでしょうか。

他には小中学生の自然体験施設や大学の合宿所として活用してはどうでしょうか。

**(答弁)** 統合で東小校舎が空いた場合の活用法に素晴らしい提案をいただきました。文化や自然の学習施設や大学などの合宿施設への活用で町内外の人々を誘致し、地域の魅力を向上させ、地域を活性化できる素晴らしいアイデアだと思います。

このアイデアを空き校舎活用の検討の参考にさせていただきます。

西小6年 おだ さら 小田 沙羅 議員

## 小学校の統合について

**(質問)** 平成30年に3小学校の統合を目指すことを知りました。統合をどのように進め、校舎をどのようにするのか教えてください。

**(答弁)** 平成27年度に統合準備委員会を作り、保護者や学校の人、地域の人で統合の課題を話し合っています。校舎は西小校舎を使うことも選択肢の一つですが、これからの話し合いで決めていきます。皆さんが統合して良かったと思われる学校にしていきたいと考えています。

南小6年 ふじわりり かこ 藤原梨伽子 議員

## 三朝中学校の部活動について

**(質問)** スポーツ少年団で剣道やバドミントンをしている友だちが中学校に同じ部が無くて続けられないと悩んでいます。一人一人の特技や長所を伸ばせる部活を増やしてほしいと思います。

**(答弁)** 今の三朝中の生徒数では希望の部を作ることは非常に難しい状況です。中学校ではスポ少で続けてきたスポーツを続けたいと思う中学生には個人競技に限り、試合に出場することを認めています。教育委員会も皆さんの特技や長所を伸ばせる部活動の方法について校長先生と話し合っていきたいと考えています。

## 【議案に対する賛否】

| 議案番号            | 議員名（議席順）   | 石田 | 吉田 | 池田 | 能見 | 中信  | 山口 | 清水 | 藤井 | 福田 | 平井 | 牧田 | 山田 | 結果 |
|-----------------|--|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|                 |  | 恭二 | 道明 | 雅俊 | 貞明 | 貴美代 | 博  | 成眞 | 克孝 | 茂樹 | 満博 | 武文 | 道治 |    |
| <b>町長提出議案名</b>  |  |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| <b>（1月臨時議会）</b> |  |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 1               | 平成26年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 2               | 三朝温泉多目的駐車場の設置及び管理に関する条例の設定について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| <b>（2月臨時議会）</b> |  |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 3               | 平成26年度三朝町一般会計補正予算（第9号）   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| <b>（3月定例会）</b>  |  |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 4               | 平成27年度三朝町一般会計予算  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 5~15            | 平成27年度特別会計予算（11件）  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 16              | 三朝町早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の設定について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 17              | 三朝町職員の配偶者同行休業に関する条例の設定について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 18              | 三朝町長等の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 19              | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について                  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 20              | 三朝町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の設定について | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 21              | 三朝町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の設定について                                  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 22              | 三徳山休憩舎の設置及び管理に関する条例の設定について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 23              | 三朝町行政手続条例の一部改正について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 24              | 三朝町税条例の一部改正について  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 25              | 三朝町保育所における保育に関する条例及び三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について                         | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 26              | 三朝町基金条例の一部改正について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 27              | 三朝町介護保険条例の一部改正について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 28              | 三朝町介護保険地域支援事業手数料条例の廃止について  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 29              | 三朝町立福祉センターの指定管理者の指定について  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 30              | 三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 31              | 定住自立圏形成協定の変更について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 32              | 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 33              | 工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（多目的駐車場整備工事）                                    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 34～44           | 平成26年度三朝町一般会計補正予算（第10号）<br>平成26年度特別会計補正予算（10件）                           | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 45              | 三朝町課設置条例の一部改正について  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 46              | 工事請負契約の締結について（三朝町総合スポーツセンター耐震改修工事（電気設備））                                 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 47              | 工事請負契約の締結について（三朝町総合スポーツセンター耐震改修工事（建築））                                   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| <b>議員提出議案名</b>  |  |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 議1              | 三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について                                      | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 議2              | 地方創生調査特別委員会の設置に関する決議   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |
| 議3              | 学校跡地調査特別委員会の設置に関する決議   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 可決 |

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

## 【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

| 件名   | 提出者                   | 審査結果 | 審査意見  |
|--|-----------------------|------|---|
| 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情  | 全日本年金者組合<br>鳥取県本部中部支部 | 趣旨採択 | 年金支給額だけでなく、今後持続可能な年金制度を考えるべきである。                    |
| 地方自治法第124条以下及び国会法第79条以下並びに請願法について、日本国憲法第16条の請願権規定の趣旨に合致する形での改正を求める意見書の提出を求める陳情 | 倉吉市 足羽 佑太             | 趣旨採択 | 本町の議会運営においては、陳情も請願の例により処理しており、陳情の趣旨は理解できる。          |
| 集団的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める陳情   | 憲法改悪反対<br>鳥取県共同センター   | 不採択  | 集団的自衛権関連法案が提出されたとしても、自衛隊が無条件に戦地に派遣されるわけではない。        |
| 教科書採択改善のために、総合教育会議（設置）の準備に関する陳情  | 教育を考える鳥取県民の会          | 不採択  | 教科書採択などに関する執行権は、教育の政治的中立性に配慮して引き続き教育委員会に残すこととなっている。 |
| 中学校で使用される歴史・公民教科書の採択基準に関する陳情   | 教育を考える鳥取県民の会          | 不採択  | 教科書採択に当たっては、教科用図書採択協議会がしっかりと選定している。                 |

## 元氣と活気のある地域に

小鹿地域協議会会長

青木 君夫



## ○地域の大きな変化

私は小鹿小学校の最後の卒業生です。あれから50年、今度は東小学校も統合でなくなる予定になっています。誠に寂しさを感じます。また、小鹿地域は梨産業で発展してきたように思いますが、今では数戸の農家で梨を作り、大きな選果場も別の工場へと変わりました。ここ数年で、小鹿地域も大きく様変わりしてきたように思われます。

## ○地域協議会の取り組み

今年1年、小鹿地域協議会の会長を引き受け、早4カ月が経過し、色々と会合、事業の多さに戸惑っているところです。

小鹿地域協議会では、公民館体育部、教養部、産業建設部、くらし安全部の各部会を中心として活動しています。

## &lt;公民館部会&gt;

河原町西郷地区との交流会  
小鹿川と親しむ会  
運動会、各部落の取り組み

## &lt;産業建設部会&gt;

小鹿溪周辺一斉清掃  
神倉もみじ祭り協力  
県道三朝温泉木地山線協議会

## &lt;くらし安全部会&gt;

花いっぱい事業  
環境パトロール  
安全福祉健康活動

地域の皆さまにはどんどん行事に参加していただき、元氣と活気のある小鹿地域になることを願います。

## 賀茂地区に拠点となる施設を

賀茂地域協議会会長

牧田 幸一郎



## ○山中三谷・扇の要

賀茂地区は山中三谷（加茂川、三徳川、竹田川）の扇の要として、三朝町の入口にあります。

若宮の天狗山からの眺望はすばらしく、地区内には、教育（中学校、保育園）、医療（吉水医院）、公共（農協、森林組合）、スポーツ（野球場、陸上競技場、トレーニングセンター）等の施設があり、三朝町の中心をなしております。

## ○住民の拠り所は

平成19年に賀茂地域協議会として発足してから、地域ビジョンに沿って地域づくりを推進してきましたが、昨年はAコープの閉鎖もあり、買い物の不便さ、住民の拠り所がなくなり、今後の対応が待たれるところです。平成30年度を目途に小学校の統合が検討されておりますが、学童保育等と併せ、賀茂地区の拠点となる施設を希望しております。

これからも、今までの行事等を継続しながら、新しい取り組みも必要であり、自主、自立の精神をもって、集落を中心に住民意識の高揚と活力ある地域を目指して行くには、今まで以上の行政の対応と、ご指導、ご協力をお願いします。

「きっちりと、おわりまで、  
手をぬかず、心をかえず」

おむすび  
ちやうひやういん

先だって、竹田保育園を視察させていただいた。園児たちの元氣のいい声が園内にひびきわたり、明るく、楽しく・元氣良く、という保育の本来あるべき姿に触れることができた気がした。この竹田保育園で取り組まれている『里山保育』について園長先生にお話を聞き、一昔も、二昔も、いやいやもつと昔の田舎町ならではの保育の姿を見た気持ちになった。

かなり昔にヒットしたテレビCMで「わんぱくでもいい、たくましく育ってほしい」というのが思い出された。ハダシで走り回り、ときには、どろまみれになり、ときには川でさかなやカエルをつかまえ、大きな声を出し、泣いたり、笑ったり、そして疲れてグッタリ寝てしまう。なんか、忘れていた大事なものを思い出させてもらった気がした。  
(池田雅俊記)

発行責任者 山田 道治  
編集 長 山田 道治  
編集 議会広報常任委員会  
委員 長 山口 博  
委員 長 池田 雅俊  
委員 長 福田 茂樹  
委員 長 清水 成眞  
委員 長 能見 貞明